

永 生 病 院 だ よ り



KEIRYOKAI

ゆるめま

- ▶ 理事長のあいさつ
- ▶ 言語聴覚士とは
- ▶ 健康ひろば
- ▶ 日本療養病床協会全国研究会にて発表
- ▶ 「職場風土改革促進事業」にて事例発表
- ▶ 仕事と家庭の両立サポート宣言
- ▶ 編集後記



病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

vol. 12

● 理事長のあいさつ

サミット前より地球温暖化による影響が急に叫ばれるようになりましたが、その影響のためか、例年より暑い夏になっています。熱中症にかかる方も多いようです。夏バテ対策とECO対策が必要です。

今年4月の診療報酬改定では、後期高齢者医療制度がマスコミにとりあげられ大変不評でしたが、後期高齢者終末期相談支援料にいたっては、当面凍結ということになりました。75歳以上に限って、終末期のことを何故別扱いにするのかも疑問ですし、終末期に関することについては、病気の治療を行っていく上で状況にあわせて、本人、家族と相談していくことであり、終末期相談支援料として診療報酬として位置づけ、そのやり方まで規定されるのは、実態に合わないと考えます。厚生労働省は、「患者が納得のいく診療方針で、尊厳と安心をもって残された日々を過ごすことができるようにすることを目的としたものである」と説明していますが、終末期にかかる高齢者の医療費抑制のためと考えられても当然だと思います。外来管理加算の見直しにしても、何故ここまで診療のやり方を規定されるのかと思います。医師、医療機関に対する誤解、不信感を招くことにならないかと心配に

もなります。

最近、血糖測定の微量採血器具が新聞上で問題になりましたが、平成18年に使用方法の注意喚起として厚生労働省が発表しましたが、器具の構造変更もなく、医療機関への周知は不十分でした。しかしながら、医療機関にはその対応が厳しく求められました。外来で患者さまに説明していく中で、「病院を信頼しているから大丈夫!」との返事をされる方がおり、このような言葉を聞くと医療者としてこの上ないことと元気がでます。制度でしぼり、決めつけていくより、信頼感・安心感の生まれる医療となるような医療行政を望みたいと思います。

理事長 森 伊津子

● 言語聴覚士が加わり、リハビリテーション科スタッフが21名になりました

■ 言語聴覚士とは

私たちはことばによってお互いの気持ちや考えを伝え合い、経験や知識を共有して生活をしています。ことばによるコミュニケーションには言語、聴覚、発声・発音、認知などの各機能が関係していますが、病気や交通事故、発達上の問題などでこのような機能が損なわれることがあります。言語聴覚士はことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。

ことばによるコミュニケーションの問題は脳卒中後の失語症、聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害など極めて多くの種類の障害があり、一人一人の障害の内容が違います。従って障害や年齢などによっても行うべき訓練内容も変わります。訓練には、発声訓練・書字訓練をはじめとした言葉を主体としたものから、注意の持続訓練など高次脳機能面までさまざまなものがありますが、患者様本人だけでなくご家族や他の医療スタッフとの連携を取りながら、根気強く続けることが重要となってきます。

適切な言語聴覚療法を行うことにより、コミュニケーション能力を少しでも取り戻す訓練や援助を行っていきますので、言葉だけでなく摂食・嚥下に関することで不安な事があれば、どうぞ気軽に相談下さい。





健康ひろば

第1回
テーマ

「熱中症について」
「うなぎ(鰻)の栄養」

熱中症について

熱中症とは、体の中と外の“あつさ”によって引き起こされる、様々な体の不調です。医学的には、「暑熱環境下にさらされる、あるいは運動などによって体の中でたくさんの熱を作るような条件下にあった者が発症し、体温を維持するための生理的な反応より生じた失調状態から、全身の臓器の機能不全に至るまでの、連続的な病態」とされています。熱中症は、熱波により主に高齢者に起こるもの、幼児が高温環境で起こるもの、暑熱環境での労働で起こるもの、スポーツ活動中で起こるものなどがあります。熱中症は、いくつかの症状が重なり合っ起こり、軽い症状から重い症状へと進行することがあります。短時間で急速に重症となることもあります。身近なところで起きているので、十分にその危険性を認識しておく必要があります。



I 度 軽症

四肢や腹部に痠みをともなった発汗
多量の発汗の中、水(塩分など電解質の入っていない)のみを補給した場合におこりやすい。

失神(数秒間程度)

脈拍が速く弱い状態になる、呼吸速拍、顔色不良、めまい、運動をやめた直後に起こりやすい。

II 度 中等度

めまい感、疲労感、虚脱感、頭痛感(頭痛)、失神、吐き気、嘔吐などいくつかの症状が重なり合っ起こる

血圧の低下、頻脈、皮膚の蒼白、多量の発汗などのショック症状

III 度 重度

意識障害、おかしな言動や行動、過呼吸、ショック症状などが、II度の症状と重なり合っ起こる。

自己温度調節機能の破綻による中枢神経系を含めた全身の多臓器障害を起こし、死亡にいたる危険性が高い。

うなぎ(鰻)の栄養

うなぎには、**ビタミンA・B2・D・E、カルシウム、DHAやEPA**などが含まれ栄養満点の魚です。体に良い脂肪酸である**DHA**(脳の動きに良い)や、**EPA**(血液に良い影響を与える)を多く含み、消化・吸収にもすぐれています。**ビタミンA**も多く含まれており、**目の粘膜、夜盲症予防、皮膚・粘膜を正常に保つ効果**があります。**免疫機能、生殖機能の維持、成長促進作用、がん予防や動脈硬化予防**にもなります。土用にうなぎを食べる習慣「土用の丑の日」は、江戸時代末期からうなぎ屋の宣伝から始まった習慣ですが、栄養価の高さから、夏バテ防止には理にかなった習慣です。



●日本療養病床協会全国研究会にて発表

平成20年7月3日(木)4日(金)福岡県で開催された第16回日本療養病床協会全国研究会に参加しました。当院の介護療養型病棟からは、「業務確認表を作成・活用したことで得られた効果」と「経管栄養から経口摂取へ移行できた事例～バイキング食事会をきっかけに～」という2つのテーマで発表し、理学療法士からは、「病棟リハビリスタッフの早出・遅出勤務の試み」、管理栄養士からは「低栄養改善に向けての栄養士の関わり方」というテーマの合計4演題を発表しました。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、栄養士などコメディカルスタッフの参加が多く、高齢化社会での認知症の問題や療養病床でのケアの問題、チーム医療などについて勉強してきました。学会で学んだ事を活かして、これからも患者様のお役に立てる様、チーム医療で支えていきたいと思ひます。





「職場風土改革促進事業」にて事例発表

財団法人21世紀職業財団本部より、
平成19年度「職場風土改革促進事業」指定事業主300社の中で、
当法人が優秀な企業主であると推薦を頂き、
7月10日大阪コロナテルで開催された西日本ブロック会議にて
事例発表を行いました。

仕事と家庭の 両立サポート宣言

医療法人圭良会は、地域に密着した医療機関として、
良質な医療・保健・福祉を提供し、患者満足度を向上させて
いくために、常に優秀な人材の確保・育成に努めてま
いりました。

この方針のもと、当法人では従来から、仕事と家庭の
両立、とりわけ育児や介護と仕事の両立が図られた「ワ
ーク・ライフバランス重視の職場風土づくり」に邁進して
まいりました。

平成19年度の取り組み

- 1 広報誌、ポスターにより院内外へ取り組みについて公表
- 2 管理職研修を行い職場の意識を醸成
- 3 両立支援制度の院内周知用ガイドブックを作成
- 4 両立支援制度院内相談窓口を設置
- 5 有給休暇(リフレッシュ休暇)取得促進活動
- 6 院内託児所保育料を第3子より無料化
- 7 全職員対象に意識啓発のためのアンケート調査を実施

以上の取り組みをもとに、20年度は「仕事と家庭の両立の風土」がさらに醸成した職場環境の成立を目指し、
種々の取り組みを行っていくことを、ここに宣言します。

平成20年6月30日 医療法人圭良会 理事長 森 伊津子

【編集後記】

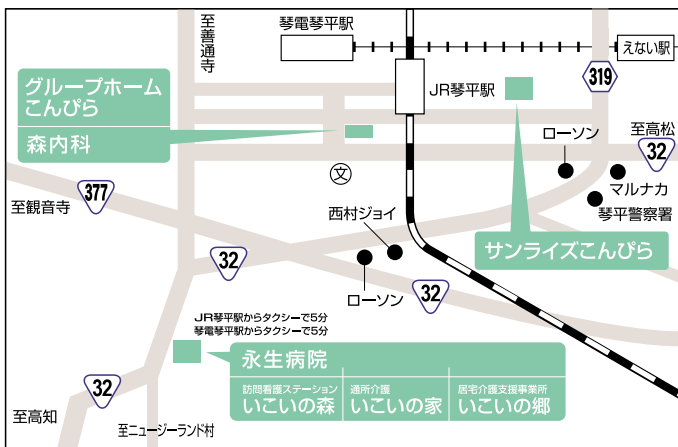
いよいよ夏本番となりました。

夏の幕開けと同時に、永生病院職員は、福岡県で行われた日本
療養病床学会にて4演題の発表を終える事ができ、この勢いで
今度は夏祭りの準備へと取りかかっています。今回も、リハビリ
テーション科の紹介を初め、様々な病院情報や皆様のお役に立

つ情報を掲載しておりますので一読下さい。

まだまだ暑い日が続きますが、猛暑の夏も吹き飛ばす元気な
永生病院をこれからもご紹介していきますので今後ともよろし
くお願い致します。

医療サービス改善委員会



医療法人圭良会

- 永生病院 香川県仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300
- いこいの森 (訪問看護ステーション) Tel 0877-73-3700
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- 森内科 香川県仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188
- グループホームこんびら (認知症高齢者グループホーム) Tel 0877-73-0811
- サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護) 香川県仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

永生病院 130床(一般病棟 40床・療養型病棟 90床)

永生病院広報誌「ゆるぬき」第12号
発行元：医療法人圭良会 永生病院
編集者：医療サービス改善委員会
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
TEL:0877-73-3300
FAX:0877-73-3202
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp
発行年月日：平成20年8月1日